

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫(文、写真)、倉谷邦雄(写真)

日時：2017(平成29)年10月5日(木) 9:30～15:30

気象：天候=晴(12時の気温：16℃)

活動エリア：44 林班ろ

活動内容：枯損木除伐と林床整備、里道保全

参加者：石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山 國 (計7名)

<やっとな「秋が来たアー!!」>

里の稲は頭を垂れ初め、畔の曼珠沙華は咲き残る。初秋らしい景色を見つけながら作業小屋へ向う。山の秋はこれからのようで、やっとな桜が色づき始めた所。活動地の気温は16℃と初めて20℃を下回る。道具を揃え、里道を通って「44 林班ろ」へ出発。

今日の活動地はモニタリング調査区を設定した尾根の西側山腹。「44 林班ろ」の植林地の上部に当たり、放置されたままの背の高い間伐材が散乱状態で、しかも除伐された広葉樹も混じる。一帯の林床整備と併せて水源地への里道の保全に取り組む。

<長尺モノ、大径木には大いに手古摺る>

山腹に縦横に重なりあった残置木は玉切りして手近な立木を利用して等高線に沿うよう棚積みする訳だが、そうそう都合よく適当な場所が得られるものでもない。切断、移動にかかる負荷はいつも通り。長くて腐蝕が進んでいないものは、下にズリ落として里道の路肩補強に活用して貰う。補強材は里道直下にあるものも運びあげて使う。積んだ棚が崩れぬよう、杭を打ちながら道を伸ばしていく。

成果としては、場所が広潤なこともあり、林床は0.1ha、里道は約30mをそれぞれ整備。なお、道を塞いでいた径40cmほどの倒木切りは半日がかりの大作業で、ようやく途中の道も打通。

<今日の「生きものの記録」& 重要な「お知らせ」>

山では栗の実食卓とキノコ料理(食べられるかは不明)、里では休耕田のコスモスに曼珠沙華。本山寺境内の大銀杏と紅葉の色づきはこれから。来月には写真をお届け出来るかも？

お知らせ一件：参加の皆さんの「昼食御用達」だったコンビニ「セブン・イレブン」は10月～来年2月の間、改装休業の張り紙あり。駐車場も閉じられる。このような次第で昼食の調達はさらに50m程進んだ左側の「ピーコック」のご利用を。各車の一時顔合わせもこちらの駐車場で。

なお、ピーコックの弁当は種類が少ないとの声もあり、別途準備するか、ロマン寿司ご希望の向きは歩いて買いに行くこと(徒歩50m)。

(本文・以上)

【七人の勢揃い】



【百済住職(当会顧問)は蔓延る草始末】



【山腹の散乱状態-画面左下は作業道】



【力技で引っ張り上げる】



【スッキリ「させた」山腹】



【里道保全作業を俯瞰する】



【路肩に運ぶ-これも「腰にくる」力技】



【路肩に木を積む】



【安全作業で部分開通】



【一寸一服：瀬祭の跡ならぬ「栗の食べ殻」】



【一服ついでにキノコは如何？】



【道を塞ぐ大径木】



【中々動いてくれない】



【何とか路肩に移動】



【里の秋：コスモスと稲田】



【里の秋：遅咲きの曼珠沙華】



【今日もご苦労サマ】



【おしまい】